### 加和太建設株式会社(Mt.Fuji Brewing) TEL(055)987-5541

ビール粕(麦芽粕)の活用による循環サイクル形成と地域経済活性化

**所在地** 〒411-0033 三島市文教町1-5-15 **代表者** 代表取締役 河田 亮一 **設立** 1946年2月

🏲 資本金 42,750千円 🕨 従業員数 272人 🕨 事業内容 建設業、土木業、不動産業

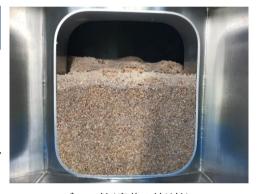
クラフトビールをきっかけとした循環サイクルで富士宮市を もっと"元気に"

# 事業の目的

これまでMt.Fuji Brewing(以下、MFB)のビール醸造時に得られるビール粕(麦芽粕)は産業廃棄物として処分されてきた。これを有効活用し、地域の牧場で肉牛を飼育いただき、その牛肉をMFB併設レストランで提供するという循環を形成。商品価値を高めると共にPR促進により地域の経済を活性化させる。

## 事業の概要

クラフトビール醸造時に得られる麦芽粕は、腐敗し易く、産業廃棄物として処分するしかなかった。これを発酵させることにより保存期間を延ばす方法を確立させる。また飼料として、地域の牧場に利用いただき、収穫物を併設レストランで提供するという循環を形成する。また、MFBウェブサイトにて本取組みの紹介及びSNS等を使ったPRによって発信力を高め地域の市場での商品力を高めていく。



ビール粕(麦芽の絞り粕)

# SDGs達成に向けての成果

麦芽粕は腐敗し易く、飼料としての安全性の面で不安があったが、発酵により保存期間を延ばすことに成功。保存方法を確立できた。また、発酵後の検査でも安全性が担保されたため、牧場へ飼料として提供するというリサイクルを推進できた。当初、イベントにてPRを考えていたが、コロナ禍で実施できず、代わりにウェブサイトで本取組み紹介ページを作成し、今後のPRに活かす土台を作ることができた。

#### JP240 YP 水分 YP2J4 YP 灰分 相灰分 分析方法: 飼料分析基準(平成20年4月1日・19消安第14729号), 重量法 YP220 YP 分析方法:飼料分析基準(平成20年4月1日・19消安第14729号), デュマ法(TCD検 たんぱく質 YP2J5 YP 4.9 % 0.1 |ジエチルエーテル抽出法) 分析方法:飼料分析基準(平成20年4月1日・19消安第1472 粗脂肪 1.0 70 1.0 70 H繊維 分析方法: 飼料分析基準 (平成20年4月1日・19消安第14729号),重量法 カビ毒 結果 JP078 YP アフラトキシンB1 分析方法: 独自法,LC-MS/MS アフラトキシンB1 <0.01 0.01 JP061 YP デオキシニバレノール(DON) 分析方法: 独自法,LC-MS/MS デオキシニバレノール <0.05 分析(一般) 定量下限値 結果 YP6WE YP 可溶無窒素物

発酵後の飼料分析結果

### 成果からみるSDGs達成Goals









麦芽粕入りの混合飼料を食べる牛